

かかりつけ医を決めておきましょう

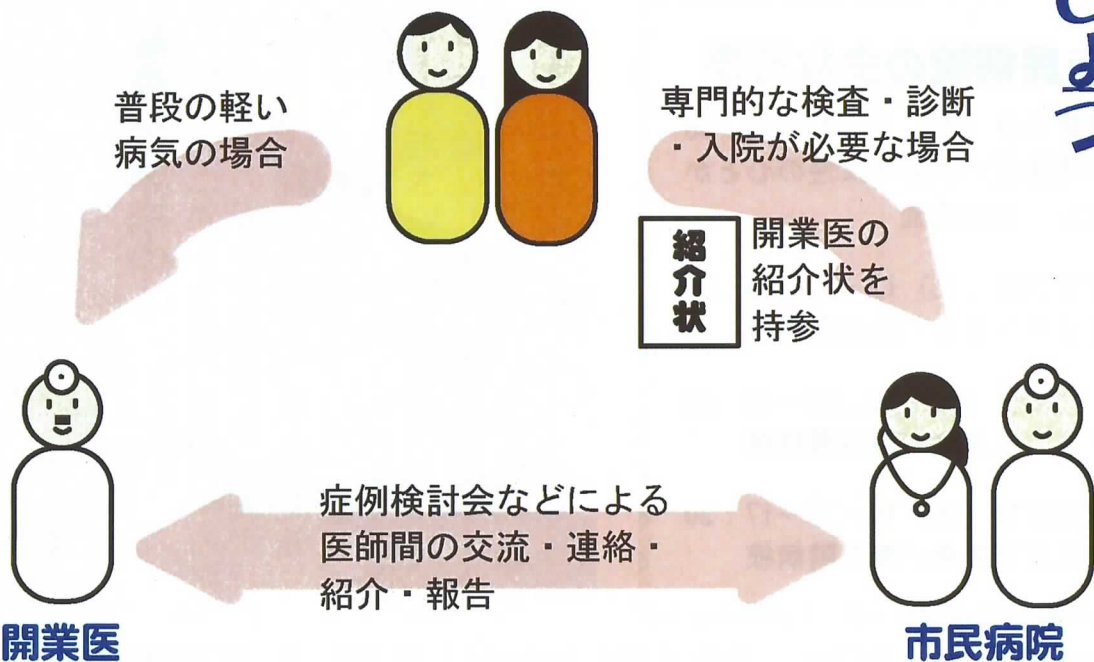
以前は、個人開業の医師が「ごく身近にいる主治医」として、家族全員の健康状態を把握していることが珍しくありませんでした。

最近では、医療内容が複雑に専門分化されています。このため、さまざまな専門医に重複して受診する場合があります。しかし、このことは薬や検査が重複するなど、医療費の無駄使いや薬の飲みあわせ不良などが起こる可能性があります。そのようなことが起こらないようにするためには、かかりつけ医を「ごく身近にいる主治医」として決めておいて、日ごろはかかりつけ医にすべてのことをお願いするというのがあります。身近な医院であれば、風邪をひいた時などでもすぐ相談でき便利です。

春日井市民病院には22の専門診療科があり、それぞれの科でかかりつけ医から紹介された方の検査依頼や治療方針にかかわる相談に応じています。また、診断がつき治療方針が決定した方については、かかりつけ医への逆紹介を推進しています。これらは、皆さんの利便につながることを考えています。そして、この連携を円滑に進めるために、市民病院では医療連携室を開設しています。医療連携室では、さまざまな医療機器の共同使用や開放型病床の運営などを行っています。

市民病院の医療方針についてご理解いただき、かかりつけ医と当院との機能を上手に利用していただくと幸いです。

医療連携室



この冬、インフルエンザに注意！

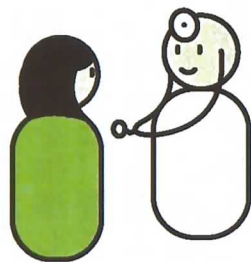
そろそろインフルエンザの流行の時期です。十分に休養をと
り、体力や免疫力を高め、常日ごろからバランスよく栄養を
とりましょう。帰宅時のうがいや手洗いも感染予防に有効で
す。また、インフルエンザに対する予防の基本は、流行前の
ワクチン接種です。自らをインフルエンザ感染から守るだけ
でなく、ほかの方への感染を防ぐことにもつながります。ぜ
ひワクチン接種をしましょう。

インフルエンザは急激な熱で発症し、
筋肉痛や倦怠感などの全身症状と咽頭痛
やせきなどの呼吸器症状が起こる、ほと
んど毎年流行が繰り返される呼吸器感染
症です。

現在では、迅速診断キットによる診断
と、抗インフルエンザ薬による治療が可
能になりました。このため、インフルエ
ンザにかかったと思ったら早期に医療機
関に受診することが重要です。

また、ワクチンの接種によるインフル
エンザの予防効果が、わが国でも明らか
になりました。ご高齢の方や慢性の呼吸
器疾患、糖尿病、循環器疾患などの基礎
疾患がある方には、インフルエンザの流
行前にワクチンを接種することが勧めら
れています。

予防接種と…



早期治療を！

市民病院の主な行事

12月3日（土）13：00～15：00
公開講座・中高年女性の心とこ
からだ／3階講堂

12月13日（火）13：30～15：30
クリスマス会／西2階病棟

12月20日（火）15：30～16：30
クリスマス会／西5階病棟

12月21日（水）16：30～17：30
クリスマス会／東5階病棟

愛称を募集中！

皆様のご意見をお寄せください
今後、紙面を充実させていきます
ので、ご意見やご要望をお寄せくだ
さい。

皆さんに親しまれる紙面にするた
め、本紙の愛称を募集しています。
応募は、院内に設置された意見箱に
備え付けの「病院新聞へのご意見ご
要望」用紙に、愛称を記入して投函
してください。採用された方には、
賞品を贈呈します。市民病院ホーム
ページでも募集していますので、ふる
ってご応募ください。